

理解するという事

岐阜市立境川中学校 3年 山本 紗瑛

ある日、玄関を開けると電気コードを首に巻こうとする祖父を、必死で母と祖母が制止し、

「大丈夫だから落ち着いて」

と声をかけていました。学校から帰った途端の出来事に私は驚きで声も出ませんでした。

祖父は、4月くらいから元気がなく笑う事も少なくなりました。

新聞も読まない、テレビも見ない、大好きな太極拳やスポーツジムにも行かなくなり、車も乗らなくなって、以前の元気な祖父とはまるで違う人間になってしまいました。

心配した母が病院に連れて行ったら、うつ病と診断されました。

小さい時から自分を可愛がってくれた祖父が大好きだった私は、別人のようになった祖父を見るのが嫌で、できるだけ顔を合わせないように避けていました。

母は、

「おじいちゃんに声をかけてあげてね」

と言うけれど、励ましの言葉はいけないと言うし、何と言ったらいいのか分からないので無視していました。

「頭が痛い」「足が痛い」「眠れない」「死にたい」と1日中言っているようで、祖母も日に日に疲れてきている様子で心配です。母も仕事を休み、病院に連れていったり1日中祖父の言う通りに動いているので、夜になると疲れて食卓で寝てしまいます。

今までは、夕食も会話があり楽しく、笑いもあったのに、祖父のせいでみんなが嫌な思いをさせられている気がして、腹が立ってきました。

みんなが気を遣い疲れているのに、泣きごとを言ったり、容赦なく人を使う祖父が、わがままを言っているとしか見えないし、母と祖母を困らせているように思えてにらんでしまいました。

「紗瑛ちゃんまでおじいちゃんを馬鹿にしてみんなで俺を邪魔にするんだな。死んでやる」

と言いだし、会社帰りの父も加わって制止してなだめました。

なんで、あんな優しい祖父がこんな風になってしまったのかわからなくて悲しくなりました。

うつ病とは、どんな病気なのか調べてみようと思いました。他人にはわがま

まに見えるが、本人はとても苦しく死にそうなくらい辛いと本に書いてありました。怠けているのではなく体がだるくて動けない事もわかりました。私は、祖父の苦しみや辛さを分からずにうっとうしがり、にらんでしまっていたのです。祖父に悪いことをしたと反省しました。

母に話すと、

「一番苦しいのはおじいちゃんだから、少しでも心が和らぐようにしてあげたいね。でも、目が離せないから見ててね。おばあちゃんも疲れているから心配だわ。紗瑛も手伝ってくれると助かるわ」

と言いました。家族みんなで祖父を助けていかなければと思いました。

私も今年は、遊ぶ間もなく勉強に追われる中学3年生です。受験という重圧と自由な時間もない日々で、祖父に似た苦しさ辛さが少しだけ分かるような気がします。

祖父は、その何倍も苦しく辛いと思うと実感出来るようになりました。

祖父に、

「みんなおじいちゃんの味方やで大丈夫やし、私も首や足をもんであげるからいつでも言ってね」

と勇気を出して言ってみたら、

「紗瑛ちゃんは受験やのに、迷惑かけてごめんね。だからおじいちゃん邪魔するといかんで、死んだ方がいいで殺して」

と祖父が言ったのを聞いて、涙が出ました。祖父はこんな辛い時も私を気遣ってくれたのです。私は、

「家族みんな、おじいちゃんが大事やで死んだらいかんよ。私も悲しいよ」

と祖父の手を握って言いました。

祖父は、泣いていましたが落ち着いたようでした。きっとわかっているのです。でも、病気のせいでコントロールできないのです。

もう、私はにらんだりしません。少しでも祖父を偏見の目を見た自分を情けなく思いました。うつ病でも、目の前に居るのは私の大好きな祖父なのです。もっと理解して少しでも気持ちを楽にしてあげたいと思いました。

世の中には、病気の人、生まれつき障害を持っている人もたくさんいます。祖父と同じ病気の人も多いそうです。これからは偏見の目で見ずに、病気や不自由さを理解し接していこうと思います。そんな気持ちを教えてくれた祖父に感謝しています。

これからも、家族で祖父を支え続けていきます。